



【学校教育目標】「総合的な人間力を培い、

地域に参画できる生徒の育成」

【重点目標】春日市の未来を切り拓くシティズンシップ教育の推進

—「我の世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成を通して—

自 壮 創 尊 健 造 訓



校長の話



「～3年ぶりの合唱コンクール～」

校長 柴田 みどり

10月21日に3年ぶりの合唱コンクールを実施しました。コロナ禍では最も飛沫感染等でリスクの高い教育活動として合唱は控えてきた経緯がありました。今年度、練習を始めるにあたり、練習はしたもののコンクールは中止という事態だけは避けるために万が一、感染状況がなんばしくない場合は録画視聴も視野に入れて準備をすすめてまいりました。夏休み明け、新型コロナウイルスの感染急増により、実施が心配されましたが、感染対策を取りながら合唱練習に励んできました。また学年ごとの分散開催にすることにより保護者の方々にも、生徒の合唱の姿を見ていただくことができました。

3年ぶりの開催なので、どの学年も中学校での合唱経験はありません。しかしながら、不思議と3年生は最上級生として、2年生は1年生より先輩としての練習風景、歌声になっていました。そして、1年生も次年度はそういう先輩達を見て成長した姿を次の後輩に見てくれるものであると感じています。

さて合唱コンクールの内容ですが、実際の姿を生で見ていただいた保護者の方々には、感じていただいたと思いますが、中学校での合唱は本当に感慨深いものであることをあらためて思い知らされました。どのクラスもここまで歌に仕上げるためには、さまざまな困難もあったことと思います。しかしながら、みんなで心をひとつにして金賞を目指すという経験は、この発達段階でしかなし得ない貴重な経験として、生徒1人1人の心に刻まれたことだと思います。教員も自分のクラスの合唱は、生涯心に残ります。私自身、担任時代、あのクラスの時、この曲で金賞をもらったなーと懐かしく振り返ります。そう考えると、歌の力の凄さをあらためて感じさせられます。今回の合唱コンクールでの経験が、これから的人生で辛いとき、それぞれの心の支えになるような、そして、いつしか同窓会で、「あの時、みんなであの歌を歌ったね」と懐かしく振り返ることができるようなそんな合唱コンクールにつながりました。今後も生徒たちの記憶にずっと残ってくれればと願います。

R4.11.13(日)あんどんFes 東中グラウンドにて  
17:30点灯 17:30~19:00 鑑賞

春日市制50周年に合わせて、11月13日(日)、午前クリーン作戦、午後PTCAバザーの後、あんどんFESを計画しております。バザーの時に生徒達が作成したあんどんを運動場に並べ、夕方、地域に開放予定としています。詳細が決定しましたらHP等でお知らせいたします。

後期始業式・生徒会交代式の様子



3年生学力診断テスト

3年生にとって、進路選択に関わる大事な学力診断テストが実施されました。11月にもまた実施されますが、結果を進路選択・決定に活用し各自の人生を自ら切り拓く材料にしたいものです。

文化発表会の様子

3年ぶりに縮小版ではない、文化発表会を実施することができました。校内で実施し、感染予防の観点から、展示鑑賞は会場分散・学年時間差で、ステージ発表は体育館の大型スクリーンで、他学年の合唱は教室で視聴しました。生徒たちは限られた練習・制作時間の中で、より良いものを創りあげようと熱心に取り組んでいました。また、合唱コンクールでは、終了時に各学年とも満足げな雰囲気で、やり遂げた感が伝わってきました。審査の先生からも好講評・励ましもありました。今後、協力・協働など学校生活に役立ててくれることを期待します。保護者の皆様方には、ステージ発表の様子をバザーの日に展示会場にて視聴いただくことができます。どうぞご理解いただきますよう、よろしくお願ひいたします。



感染予防対策について

先日(19日付)「教育活動におけるマスクの着用について」と「ご家庭からの新型コロナウイルス感染症に係る連絡について」を、配付しております。内容を熟読いただき、コロナウイルスの感染症対策にご協力ください。今後も継続して玄関と保健室に検温表示器を設置して対策を行っておりますので、保護者や地域の方々も、来校の際はご活用ください。アルコール手指消毒等も、ご協力をよろしくお願いいたします。